

人工衛星製造会社の [Terran Orbital](#) (テラン・オービタル) は米国時間 9 月 27 日、3 億ドル (約 334 億円) を投じてフロリダ州スペースコーストに世界最大の宇宙機製造施設を開発すると発表した。この約 6 万 1000 平方メートルの工場では、年間 1000 基の人工衛星と 100 万個以上の衛星部品を含む「年間数千種類の宇宙機」を製造できると、同社は声明で述べている。

2013 年に設立された Terran Orbital は、同年に超小型衛星開発企業の Tyvak (タイヴァック) を買収したものの、その後は目立たない存在だった。2017 年には、Lockheed Martin (ロッキード・マーティン) が同社に[少額出資](#)している。Terran は現在、カリフォルニア州アーバインで約 1 万 2000 平方メートルの施設を運営しているが、CEO で共同創業者の Marc Bell (マーク・ベル) 氏は、現在の製造能力やこれまで製造した衛星の数については公表していないと、最近のインタビューで TechCrunch に語っていた。

Terran Orbital は、主に米国政府向けに人工衛星の設計、製造、エンジニアリングを行う受託製造会社である。ベル氏によると、Terran の仕事の約 95% は NASA と米国防総省に関連することだが、同社の商業顧客については明言を避けた。

同社は独自の衛星コンステレーションも開発する予定だと、ベル氏は付け加えた。これらの衛星は、合成開口レーダーの一種を使用し、雲や雷雨などの視界に影響を与える気象現象があっても、画像を撮影することができるようになる。Terran によると、これらの衛星の打ち上げは 2022 年末に開始する予定だという。

新たな施設は 2025 年に完成する予定で、約 2100 人の雇用を生み出すことが期待され、平均賃金は 8 万 4000 ドル (約 935 万円) になる見込みだという。この施設は、同州の航空宇宙開発局である Space Florida (スペース・フロリダ) とのパートナーシップのもとで建造され、同局がコンジットファイナンスを提供する。

フロリダ州のスペースコーストには、すでに SpaceX (スペース X) 、Blue Origin (ブルー・オリジン) 、Redwire (レッドワイア) などが施設を構えている。今回の発表によって、同地の発展はさらに進みそうだ。2020 年は 1200 個以上の衛星が宇宙に打ち上げられ、前年の 2 倍以上の数が軌道に乗った。

画像クレジット : [TERRAN ORBITAL](#)

[\[原文へ\]](#)

(文 : Aria Alamalhodaiei、翻訳 : Hirokazu Kusakabe)